

受信可否判定調査 内容金額に差

Report

電障対策

何カ所も調査を行っていた見込みは六十万円。調査費用だけで数十万円。マンションの管理業務を円も掛かってしまう。それ受託する管理会社の社員はなら調査をせず、初めから「なぜ二十カ所も調査する受信が難しいような世帯にのみか根拠が分からず、金額策した方が無駄なおカネを納得がいかない」と、調使わずに済む」と続け、出査への疑問を口にしている。席者の苦笑いを誘った。

千葉県内の管理組合も今年に入り、業者に受信可否で電障障害施設の今後を判定調査を依頼した。障害討するに際しては、まず施

デジサポが無料実施するケースも

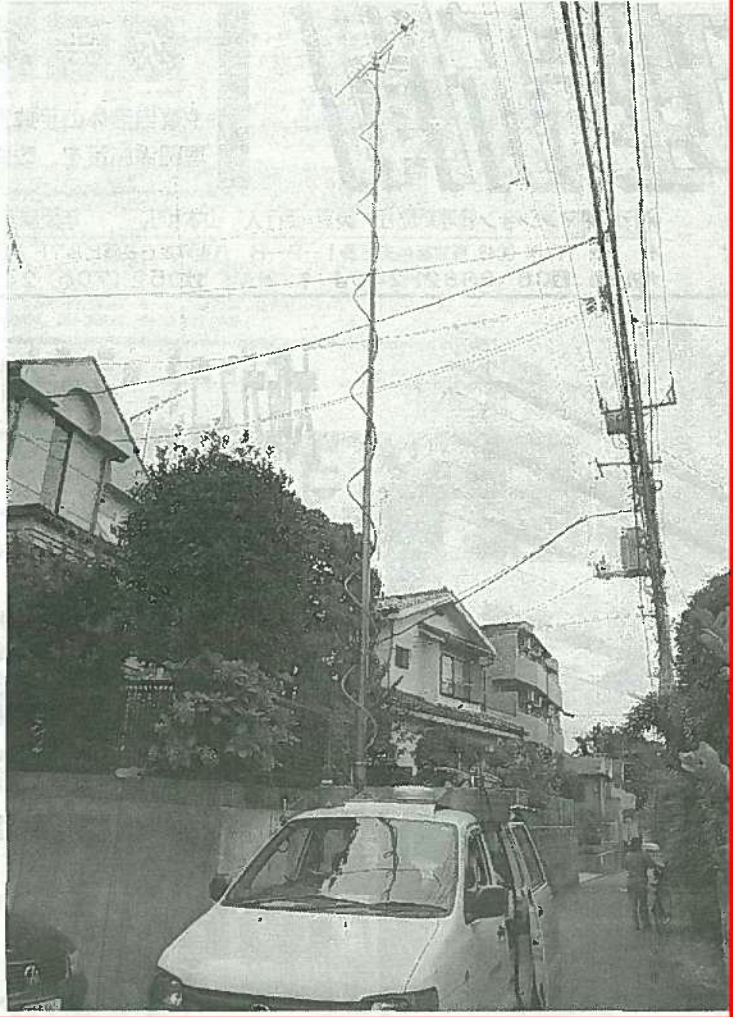
「半年前、エリア内でデジサポが映るかどうかを確認する受信可否判定の調査をしようとしたら、一カ所ので六万円費用が掛かるといわれた」

二月二十五日、都内で開かれた共聴施設デジタル化推進会議(スクラム2011)

「加入世帯は少ないのに状況を知る内容で、費用ナを設置して放送を受信で

「エリア内の二十カ所を受信設備加入世帯が個別にアンテナ状況を調べる内容で、費用ナを設置して放送を受信で

「加入世帯は少ないのに状況を知る内容で、費用ナを設置して放送を受信で



昨年九月、電波障害施設×百戸程度。範囲が狭かったり共同受信設備の保守・改修を手掛ける受信サービス(本社東京、松尾建設社)が都内で行った受信可否判定調査に同行した(右写真に実施状況)。この日の調査エリアは二百五十軒

信状況にゆとりがあるか調べる「マージン測定」を重視するほか、良好に受信できなかつた場合、アンテナの高さを調整するなどして、逆に電波を減衰させ、優れた受信点を見つけ出す「補完調査」にも力を入

「補完調査」にも力を入

「補完調査」にも力を入

「エリア内の二十カ所を受信設備加入世帯が個別にアンテナ状況を調べる内容で、費用ナを設置して放送を受信で

「エリア内の二十カ所を受信設備加入世帯が個別にアンテナ状況を調べる内容で、費用ナを設置して放送を受信で

「エリア内の二十カ所を受信設備加入世帯が個別にアンテナ状況を調べる内容で、費用ナを設置して放送を受信で